

## 職員は営業感覚を持ち積極的に町に出でよ!



政策民主会議国分寺 皆川 りうこ

人事管理／課長職不在は政策低下の恐れあり  
問) 男女平等人権課の課長が不在で部長が兼務だ。組織としても問題で政策の後退も心配だ。  
市長) 重要な役割を担っている部署で施策を軽んじていない。部長にしっかりと務めてもらう。  
行政改革／業務改善提案制度、市民の声の反映  
問) 削減、縮小、負担増だけが行革ではない。内部改革、改善、意識改革が重要。有料化により利用者が減少し無料にした施設もあると聞く。  
管理職自ら改善提案することにより手本を示せ。  
政策部長) 制度を使うかは別として検討したい。  
問) 嘱託、臨時職員も意見や提案できるように。  
政策部長) ひらめきBOXの拡大を考えたい。  
問) ファミレスなどにあるようなアンケート用紙を参考に気軽に市民が声を出せるよう工夫を  
政策部長) ひな形の検討をしてみたい。  
避難所としてカラオケ店等も対象拡大を  
問) 都の被害想定では、従来の計画以上に避難所などの確保が必要で民間事業者への協力要請は必須。社会貢献をコンセプトとしているカラオケ店も有効で協力的だ。職員は積極的に町に出て営業活動として協力事業者の開拓をせよ。  
総務部長) 地域防災計画の見直しに際し、その点も視野に入れ、民間施設への協力を求めたい。  
保育行政／質の低下を招く事のないように  
問) 合同園長会、施設長会の充実を。発達障害、DV、子どもの虐待問題等をテーマに研修せよ。  
子ども福祉部長) 情報交換も行い、保育に関する課題等、勉強会など積極的に進めて行きたい。  
「生きがい交流事業」契約のあり方に問題あり  
問) 市は、従来の生きがい支援活動事業が行政主導だったと反省し再構築したが再構築それ自体が行政のみで決定。市民参加で再々構築せよ。  
福祉保健部長) 12月に提案できなかったことは反省点だ。地域福祉の視点で検討した結果だ。  
問) 契約書では事業者からの提案内容は、3ヶ月一期分だけなのに1年間契約したのは問題だ。  
福祉保健部長) 今後の事業は、事業者と協議しながら決めていく。二期以降は早急に協議する。  
※全く理解できない答弁に終始した。

## 公立保育園を維持することが市の公的責任



日本共産党国分寺市議団 中山 ごう

《誰もが安心できる保育サービスを》

問) 保育の全体計画の中で保育の質を維持・向上させるとあるが、何をもって維持・向上させるのか。  
子ども福祉部長) 基幹型システムを構築して保育の質の向上を図りたい。  
問) 基幹型システムの具体的な内容はどのようなのか。  
子ども福祉部長) 今は市内を3つに分けてそれぞれに基幹型保育所を配置するイメージ。内容は検討中。  
問) 基幹型保育所として民営化されるひかり保育園は事業者との契約はいつか。また、基幹型システムはいつ確定されるのか。

子ども福祉部長) ひかり保育園はH24年度中に契約。基幹型システムはH25年度に確定。  
問) 契約した後からシステムが確定しては、事業者が基幹型保育所としての業務を行なってもらう担保はどこになるのか。

子ども福祉部長) システムの概要は事業者の説明している。契約時に結ぶ仕様書に詳細は書けないが、大枠を書いて、協議でつめていく。

\*基幹型システムの内容を決めたあとに民営化しなければ、事業者が基幹型業務を実施してもらう担保がないことは明らかと指摘。

問) 基幹型システムが構築されたらと仮定して、よりよい保育が提案された場合、公立園と民営園での対応の違いは

子ども福祉部長) 公営園であればよりよい保育に向けて市の組織として保育業務を行なっていく。民営園ごとの考えがあるので、その保育園の考え方に基づいて保育が行なわれる。民営園にはお願いすることになる。

\*ひかり保育園の民営化と保育の質がどうなってしまうか分からない全体計画について、撤回を求めた。

《循環型の社会をめざして》

\*ごみの有料化反対、有料化ではないごみ減量施策の充実、公共施設への太陽光パネル設置、住宅用太陽光パネル設置補助を求めた。

## 生きがい事業を元通りに生活保護の改善を



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜生きがい事業を元通りに＞

岡部：(新たに開始された「地域生きがい交流事業」は第1期～第3期が設けられそれぞれの間は期間が空いていることについて)なぜ市の事業としてやらないか、またできないのか。

福祉保健部長：1期とか2期のそれぞれの講座に参加した方が自立していただいて、自主的に活動していただくことが必要だ。そういう意味で、講座は一定の期間を設けて実施し、「卒業」される方の自立を促進しながら、地域での支え合いとか地域づくりを進めていきたい。

岡部：もともと申し込みの受け付けの時点からそのように想定しているわけですね。利用者にはできるだけ自立して自主グループをつかってほしいというような話はしているのか。

福祉保健部長：(受託した)事業者とは、利用者に声かけをしてほしいと話している。

岡部：市の態度は余りにも利用者任せ、事業者任せで、もともとこの事業で市は責任を果たす意思すらないと言わざるを得ない。

福祉保健部長：高齢者のさまざまな要望がある。市の行政にすき間がある部分については、ボランティアや自主的な活動もお願いしたい。

岡部：生きがい事業の通所事業を廃止して、縮小して、市のやっていること自体がすき間をつくり出しているのではないのか。そのすき間をボランティアで埋めるとは、言ってほしくない。

＜生活保護の改善を＞

岡部：生活保護の相談員は、相談してきた方に、どのような質問、確認をしているのか。

福祉保健部長：親族の方からの扶養や負債について聞きながら、生活保護を申請する資格があるかどうかについて、確認させて頂いている。

岡部：相談の段階からそのような条件を言って申請をしにくくすることがあってはならない。

岡部：国会では芸人の方を利用して、生活保護

の基準を下げようという検討まで言われているが、下げないよう市が国に意見表明すべき。  
福祉保健部長：全体的に最低基準については引き下げをしないように、要望していきたい。

## 子どもの体力向上には全市的な取り組みを!



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

岩永)近年、生活習慣の乱れや3間(時間・空間・仲間)の減少に伴う子どもの体力低下が課題になっているが、国分寺市の子どもの体力数値が全国・東京都平均ともに多くの項目で下回っている現状をどのように考えるか? 岩永)運動の習慣化と遊ぶ時間の確保が必要。岩永)小さい時から外で遊ぶことで体力をつけ、運動を習慣化することが大事。岩永)小さい時から外遊びを体験する場として、父親も参加できる土曜日の親子ひろば事業を、地域の公園等を利用した野外型として拡充してはどうか。岩永)実施できる方向で進めていきたい。岩永)子どもの基本的な生活習慣の基盤づくりなど、家庭や地域を巻き込み、庁内での連携体制のもとに対策を講じるべきでは。岩永)学校・家庭・地域・市全体を通して運動の機運を盛り上げていく必要がある。市長)学校での取り組みと同時に、各部課が連携して子どもたちの健全な成長を育てていくべきである。岩永)高齢者の介護予防としての体力づくりの必要性について、どのように考えるか? 岩永)できるだけ介護保険にお世話にならずに自立した生活を送れるように様々な事業が必要である。岩永)今回再構築された「地域生きがい交流事業」では、体力づくりのプログラムがない会場がある。9月からの事業見直しにあたっては、介護予防体操を全ての会場で実施すべきでは。岩永)実施できる方向で検討したい。岩永)障がいのある人の運動・スポーツの取り組みについて、東京都の「障害者スポーツ地域開拓推進事業」等を活用し、指導者の派遣や子どもや高齢者とも一緒に楽しめるスポーツイベントの実施とともに、情報提供の充実や、障害者スポーツ指導員資格取得の推進を図るべき。岩永)東京都多摩障害者スポーツセンターとも連携して考えていきたい。  
★その他、地域防災計画の見直しについて、全避難所において地域住民参加で運営マニュアルを策定すること、給水対応について東京都との連携体制の確認を早急に行うこと、災害時要援護者の安否確認や二次避難所の運営における地域の福祉施設と連携した体制づくり等を求めた。

## DV被害者支援～行政の為すべきことは何か



国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) 公立保育園のみならず、民間園や認可外施設も含めて保育の質の確保・向上を目指し、平成26年度に向け、保育の全体計画がすすめられている。具現化に向けて、いくつか提案する。  
①苦情解決システムの利用対象者を市内の全保育施設利用者に拡大すること ②市内の全保育施設で第三者評価受審を徹底することと結果の可視化 ③家庭福祉員と認可保育園との連携 ④学術機関との連携による多角的な保育の研究。  
次ページに続く ↓